

留萌市地域公共交通活性化協議会 平成21年3月2日設置



概要

留萌市は、人口の減少やマイカーの普及により市内路線バスの利用が減少しており、また、地形等の関係から市内路線バスが運行できない公共交通空白地域もあり、少子高齢化による市民の交通手段の確保が課題となっている。このため、現行路線の再編や公共交通空白地域へのコミュニティバス・乗合タクシーの導入、過疎医療バス・スクールバスの再編等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR留萌本線(留萌駅、大和田駅、藤山駅、幌糠駅、峠下駅、瀬越駅、礼受駅)
- ・沿岸バス(株)(地域内8路線、郊外6路線、都市間1路線)
- ・中央バス(株)(都市間2路線)、道北バス(株)(都市間1路線)
- ・スクールバス(藤山町、礼受町)
- ・過疎医療バス(峠下町地区、中幌地区、樽真布地区 週1便)

○地域公共交通の課題

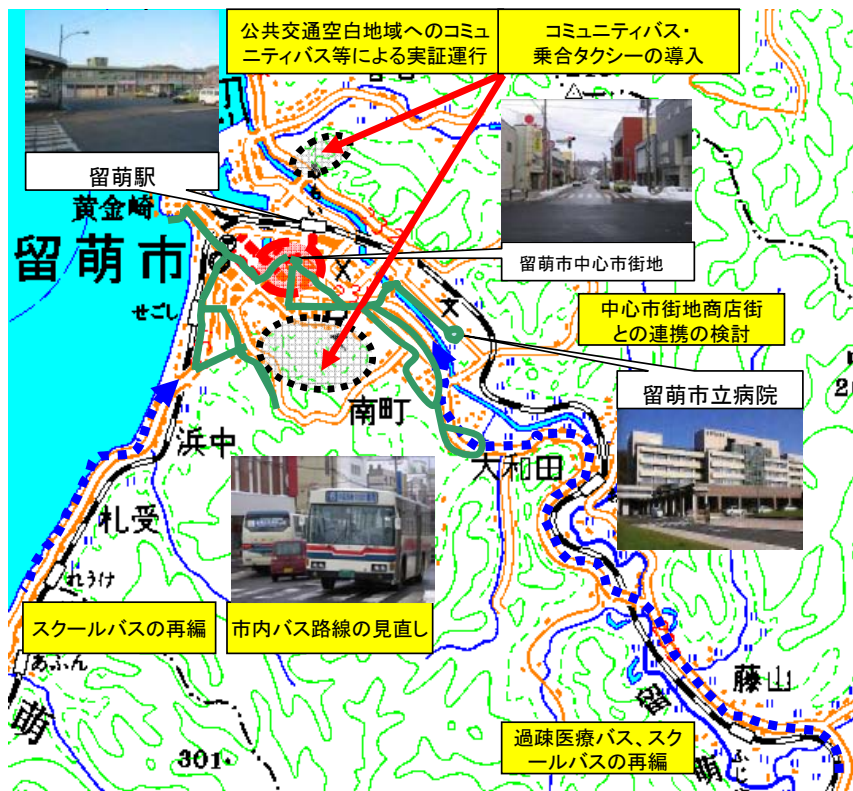
- ・市内路線バスの利用者減少
- ・交通不便・公共交通空白地域の交通手段の確保
- ・高齢者等の通院・買物等の移手段の確保

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・公共交通空白地区でのコミュニティバスの試験運行

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・市内バス路線の見直し
- ・コミュニティバス・乗合タクシーの導入
- ・公共交通空白地域へのコミュニティバス等による実証運行
- ・中心市街地商店街との連携
- ・過疎医療バス、スクールバスの再編



国土地理院発行20万分の1地勢図より